

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:2024年5月10日

事業所名 ちあふるスクール枚方

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		児童個別の活動ブースを設けており、定員最大人数利用時も、児童それぞれの活動スペースを確保できています。	最大人数がいる際も、一目で活動スペース全体を見渡せるブース配置に変更しました。
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		サービス提供時間前に、職員全体でミーティングを行い、情報を共有しています。ヒヤリハットなど問題が起きた際は、改善方法について話し合っ解決策を決めています。	ミーティングに参加できなかった職員がいる場合に、共有方法を明確にして全職員が万全の準備で支援に臨めるようにします。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価を実施して、内容を全職員で共有しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所内研修及び外部研修の実施と、各職員への伝達を行っています。		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		各職員が提案を出して、職員全体で相談しながら行っています。課題が決まったら個々にできることを分担して準備しています。	児童一人ひとりに合った活動プログラムを用意するために、さらに広く深く情報収集していきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		定期的に職員間で共有を行い、利用児童の心身の状況に合わせて活動プログラムを変更して提案しています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		職員で共有している児童別報告書に、毎日の活動内容を記録しています。取り組み内容を記録したり、各児童のスケジュールボードを事前に準備して、児童も指導員も活動内容がわかりやすいように工夫しています。毎日、送迎表兼担当表を用意しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		当日や翌日に職員全体で共有をしています。	
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		各児童の支援内容に照らし合わせた活動記録を残しています。		
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、保護者様とも共有をしています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		相談支援事業所から紹介の児童について担当者会議の際に支援内容を報告できるように活動記録を児童毎にまとめている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	開所してから現在まで、移行した利用児童がいないが、移行する際に情報提供を行えるように支援内容の記録を残しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			現状は地域の学校に通っている児童しかいないため、交流の機会を設けていませんが、必要に応じて交流機会を確保できるように準備していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		保護者様からの要望として必要とされたことがないため、今まで参加する機会はありませんが、今後機会があれば積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		支援計画の面談時や、その他に保護者様と話す機会に行っています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会の開催は、要望があった場合に検討していこうと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	○			ご近所の方の訪問があれば、個人情報に配慮してスクール内の見学を検討しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		その他に、送迎時のマニュアルを用意して、全指導員で共有しています。	継続して安全に送迎を行えるように、適時マニュアルの更新を行います。その他のマニュアルも必要に応じて用意していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		通所する全児童が防災訓練を受けられるように、一週間の防災訓練期間を設けて実施しています。防災訓練の動画視聴や、実際に避難するときに利用する非常階段の確認を行いました。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		重要事項説明書でご案内のうえ、個別支援計画に記載しています。また、虐待防止、身体拘束の適正化マニュアルを用意しております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師の指示書はもっていないことが多いですが、入所契約時や面談の際に食べ物アレルギーの有無や対応方法について保護者様に確認しています。	対象となる児童には、口頭で確認するだけでなく、医師の指示書のコピーをいただけるか声かけをしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			